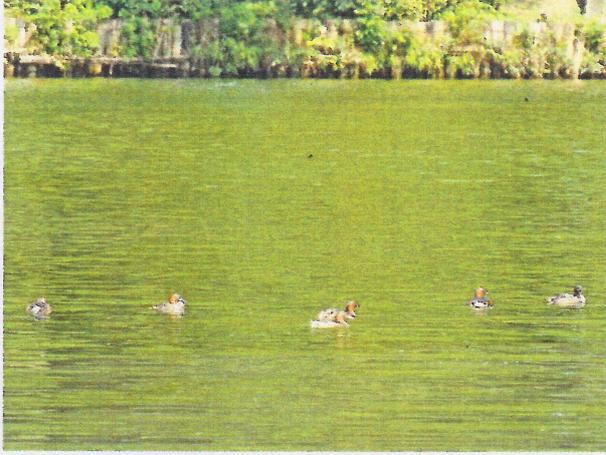


令和2年6月～10月

かいぼり後の大池では、在来種の小魚やエビ類などの小型の水生生物が増えています。また、令和2年6月と10月には、小型の水生生物を餌とする水鳥のカイツブリのヒナが確認されました。上尾丸山公園におけるカイツブリの繁殖は、かいぼり前の事前調査では確認されていませんでした。



頻繁に見られるようになったカイツブリ



大池で誕生したカイツブリのヒナと親鳥

質問3-1 令和2年4月から11月までの間、かいぼり後の上尾丸山公園に行きましたか。

- ①行った。
- ②行かなかった。

※質問3-1を②と回答した方は、質問3-3に進んでください。

質問3-2 大池や公園内の自然について、かいぼり前と比較して変化を感じましたか。以下の表に「○」をつけてください。よろしければ感じた変化をお書きください。

	変化を感じた	変化を感じなかった	わからない	具体的な変化について（自由記述）
水質について				
生き物について				

質問3-3 コラム3のような在来種の動植物が回復しつつある状況について、どう思われますか。

- ①多様な在来種が生息している公園は魅力がある。
- ②在来種でも外来種でも公園の魅力は変わらない。
- ③生き物には興味がない。

質問3-4 水辺再生活動を続ければ、さらに多くの在来種に出会える可能性があります。この取り組みについてどう思いますか。

- ①これからも継続して取り組んでほしい。
- ②やらないほうがよい。理由（_____）
- ③わからない。